

5. 「定量的効果」でルート決定。

「定性的課題」は調整で解決可能。

● どのルートが国民の効用を最大化できるかが、選定の優先事項ではないか。

- ☑ 現在を基準とし、我が国の将来に責任のあるルートを選定すべき。
- ☑ ルート決定は、利用者便益と経済合理性を優先して判断すべき。

● 国民の効用を更に高める為、鉄道事業者間の調整を図るべきではないか。

- ☑ ルート決定後、国が責任を持って「乗り入れ」の調整を行うことに期待。
- ☑ 「乗り入れ」に関する運行管理システム上の対応は、山陽新幹線・九州新幹線の博多開業時に経験済み。
- ☑ 事業者間の収益は新幹線貸付料で調整が可能。

● リニア中央新幹線 名古屋～大阪開業の前倒しとの比較考量の視座も必要ではないか。

- ☑ 東京～名古屋～大阪間のリダンダンシーをリニア中央新幹線に期待。
- ☑ 北陸新幹線敦賀以西ルートに多額の財源投入が可能ならば、合理的ルートで北陸新幹線敦賀以西を建設し、リニア中央新幹線の大阪への前倒し開業ができるよう支援すべきではないか。

